

人口 6,004人(-20)

男 2,893人(-11)

女 3,111人(-9)

世帯数 1,758戸(-1)

平成2年2月1日現在

()は対前月比



風をきって走れ!!

1月28日に行われた第10回牧水ロードレースには、町内外から多くの選手が出場し、沿道からは競技者に対してあたたかい声援が送られました。

平成2年

3

第465号

とびとびに 岩かあるらし 春の日の
とろめる入江 浪動く見ゆ

牧水

550人が牧水の里を駆ける

町制施行20周年記念

第10回 牧水ロードレース大会



旭化成 谷口浩美選手・朝比奈三代子選手を招いて

第十回牧水ロードレース大会が一月二十八日、牧水公園を会場に開催されました。今回は、町制施行二十周年の記念行事の一環として実施され、旭化成からマラソンランナーの谷口浩美選手と、女子10キロの第一人者朝比奈三代子選手を招いて、盛大に行われました。当日は、午前九時から開会式

が行われ、親子ジョギングをはじめとする二十四種目に約五百五十人の選手が参加して健脚を競いました。時に、今回一般選手として参加した小林高校の駅伝部の選手たちは、高校生男子5キロの部と10キロの部の上位を独占する活躍で、参加者や沿道の応援に刺激を与えてくれました。

に当たりました。さらに、入賞者表彰のあとは、もちまきにより全日程を終えました。

大会成績表

- 〔親子ジョギングの部〕
 - (一言タイムとの差を競うもの)
 - 一位 海野すみよ(日向市) 1秒
 - 二位 矢野陽一(東郷小) 19秒
 - 三位 福良俊美(小野田) 20秒
- 〔小学生3キロ男子〕
 - 一位 海野政人(寺迫小) 11分16秒
 - 二位 黒田正規(田代小) 11分24秒
 - 三位 吉田慎介(田代小) 11分33秒
- 〔小学生3キロ女子〕
 - 一位 戸越さおり(延岡南小) 12分40秒
 - 二位 甲斐梢(寺迫小) 12分46秒
 - 三位 蔵本寛子(恒富小) 12分48秒
- 〔中学生5キロ男子〕
 - 一位 長友昭文(北郷中) 16分46秒
 - 二位 平野真司(土々呂中) 17分01秒
 - 三位 椎葉透(椎葉中) 17分04秒
- 〔中学生3キロ女子〕
 - 一位 安藤富美恵(岩脇中) 10分34秒
 - 二位 東奈穂美(椎葉中) 10分39秒
 - 三位 椎葉貴子(椎葉中) 10分46秒
- 〔一般10キロ男子〕
 - 一位 福田ヨシ子(小林市) 23分51秒
 - 二位 川崎サグ子(延岡市) 24分19秒
 - 三位 木村恵美子(日向市) 31分52秒
 - 四位 山本スミ子(都農町) 29分21秒
 - 五位 秋吉登美(日向市) 30分34秒
- 〔一般10キロ女子〕
 - 一位 岩野憲(西都市) 37分59秒
 - 二位 山崎邦之(日向市) 39分00秒
 - 三位 相川淳(高鍋町) 40分09秒
 - 四位 瀬戸口照幸(延岡市) 35分01秒
 - 五位 倉永靖(新富町) 35分46秒
 - 六位 河野賢一(越表) 38分02秒
 - 七位 岩田広俊(門川町) 34分53秒
 - 八位 染矢秋義(北川町) 37分26秒
 - 九位 黒木喜信(日向市) 41分11秒
 - 十位 栗須信利(野尻町) 36分01秒
 - 十一位 矢野義行(延岡市) 37分38秒
 - 十二位 大平通則(小林市) 38分42秒
 - 十三位 濱田昌三(延岡市) 46分52秒
 - 十四位 柞木直吉(小林市) 47分55秒
 - 十五位 秋吉利(日向市) 59分00秒
 - 十六位 前田桜(昭子) 寺原和美(洋一) 伊藤正喜(松美) 沖田亜沙美(朝男) 鈴木祐基(義信) 稲田博昭(哲男) 寺田淳一(三郎) 中村偉人(政司) 黒木保光(孝夫)
 - 〔福瀬小学校〕
 - 直野あすか(廣義) 直野のぞみ(雄二) 中村まゆみ(輝行) 坂田純(しずよ) 川越晃(和憲) 川越めぐみ(賢一) 谷口誠(繁幸) 平瀬裕洋(晴良) 岩田俊介(広信) 谷口由香里(美代治) 岩田梢(政詞)
 - 〔坪谷小学校〕
 - 安藤豊(次男) 中谷友美(敏) 寺田光妃(新一) 矢野千夏(続) 寺原菜穂子(正) 岡村優希(賢一) 矢野京子(紘) 桑原建也(時男) 山口理恵(幸善) 三浦翔吾(律男)
 - 〔越表小学校〕
 - 甲斐聖隆(實) 日高美穂(良範) 山床里香(八十一)
 - 〔寺迫小学校〕
 - 海野華(宏) 黒木信広(純吉) 田代慎(義富) 橋口麻美(良一) 黒木将司(廣道) 小形祐三(祐司) 橋口智一(政美) 植野真理子(繁) 黒木瑞恵(定二) 近藤杏(剛史) 田代祐介(優) 新保裕仁(昭彦)



競技の合間に記念撮影



町の木「やまざくら」を記念植樹



さすがに速い小林高校の選手

- 矢野純一(小林高) 15分53秒
- 20代・一位 迫田幸二(延岡市) 16分08秒
- 二位 赤沢一彦(延岡市) 16分22秒
- 三位 深川聡(日向市) 16分29秒
- 30代・一位 黒木広光(都農町) 16分29秒
- 二位 中村武男(門川町) 16分39秒
- 三位 田中和広(南郷村) 17分08秒
- 40代・一位 大石恭次(門川町) 16分31秒
- 二位 斉藤和洋(小林市) 16分59秒
- 三位 矢津田守正(南郷町) 17分54秒
- 50代・一位 森茂雄(延岡市) 19分24秒
- 二位 菊池義雄(門川町) 20分48秒
- 三位 中瀬汀(椎葉村) 20分54秒
- 60代・一位 広瀬藤春(延岡市) 19分12秒
- 二位 高橋義照(佐土原町) 20分28秒
- 三位 武田勲(串間市) 21分47秒
- 〔一般5キロ女子〕
 - 20代・一位 奈須文子(西郷村) 24分16秒
 - 二位 甲斐由美(仲深) 24分31秒
 - 三位 河原由美子(延岡市) 26分56秒
 - 30代・一位 今屋敷美恵子(小林市) 20分33秒
 - 二位 岩見美代子(鶴野内) 23分03秒
 - 三位 井上教恵(日向市) 24分01秒
 - 40代・一位 黒木絹子(鶴野内) 24分03秒
 - 二位 平口多美子(日向市) 24分09秒

- 50代・一位 福田ヨシ子(小林市) 23分51秒
- 二位 川崎サグ子(延岡市) 24分19秒
- 三位 木村恵美子(日向市) 31分52秒
- 四位 山本スミ子(都農町) 29分21秒
- 五位 秋吉登美(日向市) 30分34秒
- 〔一般10キロ男子〕
 - 高校生・一位 脇田浩之(小林高) 34分21秒
 - 二位 吉本盛男(小林高) 34分26秒
 - 三位 岩元出水(小林高) 34分30秒
 - 20代・一位 河野憲(西都市) 37分59秒
 - 二位 山崎邦之(日向市) 39分00秒
 - 三位 相川淳(高鍋町) 40分09秒
 - 30代・一位 瀬戸口照幸(延岡市) 35分01秒
 - 二位 倉永靖(新富町) 35分46秒
 - 三位 河野賢一(越表) 38分02秒
 - 40代・一位 岩田広俊(門川町) 34分53秒
 - 二位 染矢秋義(北川町) 37分26秒
 - 三位 黒木喜信(日向市) 41分11秒
 - 四位 栗須信利(野尻町) 36分01秒
 - 五位 矢野義行(延岡市) 37分38秒
 - 六位 大平通則(小林市) 38分42秒
 - 七位 濱田昌三(延岡市) 46分52秒
 - 八位 柞木直吉(小林市) 47分55秒
 - 九位 秋吉利(日向市) 59分00秒
 - 十位 前田桜(昭子) 寺原和美(洋一) 伊藤正喜(松美) 沖田亜沙美(朝男) 鈴木祐基(義信) 稲田博昭(哲男) 寺田淳一(三郎) 中村偉人(政司) 黒木保光(孝夫)
 - 〔福瀬小学校〕
 - 直野あすか(廣義) 直野のぞみ(雄二) 中村まゆみ(輝行) 坂田純(しずよ) 川越晃(和憲) 川越めぐみ(賢一) 谷口誠(繁幸) 平瀬裕洋(晴良) 岩田俊介(広信) 谷口由香里(美代治) 岩田梢(政詞)
 - 〔坪谷小学校〕
 - 安藤豊(次男) 中谷友美(敏) 寺田光妃(新一) 矢野千夏(続) 寺原菜穂子(正) 岡村優希(賢一) 矢野京子(紘) 桑原建也(時男) 山口理恵(幸善) 三浦翔吾(律男)
 - 〔越表小学校〕
 - 甲斐聖隆(實) 日高美穂(良範) 山床里香(八十一)
 - 〔寺迫小学校〕
 - 海野華(宏) 黒木信広(純吉) 田代慎(義富) 橋口麻美(良一) 黒木将司(廣道) 小形祐三(祐司) 橋口智一(政美) 植野真理子(繁) 黒木瑞恵(定二) 近藤杏(剛史) 田代祐介(優) 新保裕仁(昭彦)

おんねんせい

79名

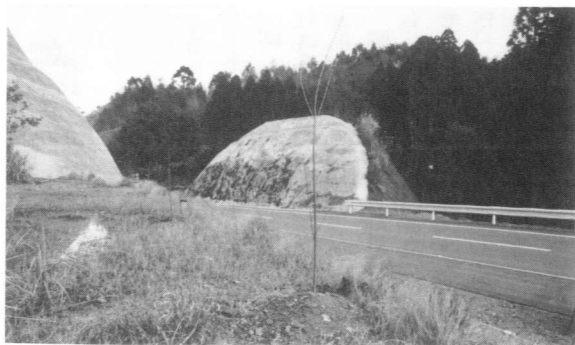


町教育委員会が、平成二年二月四日現在で調査した平成二年度の新入学予定児(昭和五十八年四月二日、昭和五十九年四月一日生)は次のとおりです。なお、新入学予定児で名前が掲載されていない幼児については、保護者が直接教育委員会に申し出てください。

- 〔東郷小学校〕
 - 橋口朋美(美一) 橋口祐二(力) 橋口久美子(喜一郎)
 - 敵原潤(恵美子) 海野三和(修一) 矢野信介(信平) 戸澤辰徳(久利) 都甲掌(裕次) 桑田瞳(柳二) 寺原恵美(義行) 野口貴史(和幸)
 - 那須樹(茂樹) 直野大輔(和政) 高森陽子(牧夫) 神部直人(治喜) 川内美奈(利治)
 - 那須美絵(一夫) 橋口美里(徳夫) 向山剛(梅夫) 佐藤稔朗(清美) 福谷さつき(集) 時任裕香(孝俊) 新本祐希(真人) 古川直諒(廣幸) 寺

- 田大輔(義則) 永田政史(良一) 佐藤のぞみ(富士男) 黒木英論(富義) 佐藤喜一(和子) 前田桜(昭子) 寺原和美(洋一) 伊藤正喜(松美) 沖田亜沙美(朝男) 鈴木祐基(義信) 稲田博昭(哲男) 寺田淳一(三郎) 中村偉人(政司) 黒木保光(孝夫)
- 〔福瀬小学校〕
 - 直野あすか(廣義) 直野のぞみ(雄二) 中村まゆみ(輝行) 坂田純(しずよ) 川越晃(和憲) 川越めぐみ(賢一) 谷口誠(繁幸) 平瀬裕洋(晴良) 岩田俊介(広信) 谷口由香里(美代治) 岩田梢(政詞)
 - 〔坪谷小学校〕
 - 安藤豊(次男) 中谷友美(敏) 寺田光妃(新一) 矢野千夏(続) 寺原菜穂子(正) 岡村優希(賢一) 矢野京子(紘) 桑原建也(時男) 山口理恵(幸善) 三浦翔吾(律男)
 - 〔越表小学校〕
 - 甲斐聖隆(實) 日高美穂(良範) 山床里香(八十一)
 - 〔寺迫小学校〕
 - 海野華(宏) 黒木信広(純吉) 田代慎(義富) 橋口麻美(良一) 黒木将司(廣道) 小形祐三(祐司) 橋口智一(政美) 植野真理子(繁) 黒木瑞恵(定二) 近藤杏(剛史) 田代祐介(優) 新保裕仁(昭彦)

※寺迫小は、このほかに日向市からの受託児童が5名入学します。



▲ふるさとの沿道に……桜を100本

～宮崎市の町人会から～

本町出身者で、現在は宮崎市に在住する方々で組織された東郷町人会から、「羽坂バイパスの沿道に植えてください」と桜(ソメイヨシノ)の苗木100本が、本町に贈られました。

早速、1月中旬に田野区の皆さんの協力を得て、東郷大橋～卸児間に植えさせていただきました。

東郷町を離れてなお“故郷”を思う気持ちのあたたかさに、桜の開花も早まることでしょう。



▲がんばりましたが……

～郡青年駅伝大会～

1月21日、東臼杵郡青年駅伝大会が開催されました。大会は、南郷村の多目的研修センターをスタートし、東郷町を経由して西郷村のニューホープセンターにゴールする約42km、10区間で行われました。

本町は、1区の甲斐由美さんが健闘し、2区ヘトッパでタスキを渡しましたが、中盤くずれて、結局参加9チーム中8位でした。来年の活躍が期待されます。

▼夢を語る

～新春懇談会～

1月17日、町内の各階層の代表者の出席により、新春懇談会が行われました。

今年は、特に後継者等若者の出席が多く、新春を迎える今後の抱負や、夢のある町づくりなど、活発な意見が町長を囲んで交わされました。



トピックス

▼いろんな文化があるネ

1月25日、宮崎県海外協会主催による異文化交流事業が牧水公園「ふるさとの家」で行われました。

この事業は、県民と県内在住の外国人との交流を通して、地域住民の国際理解と地域の国際化を図ることを目的として実施されており、本町は今年で2回目の実施となりました。

当日は町内の青年と訪れた外国人6名が若者の生活習慣の違いなどについて意見交換を行いました。



短歌

尾鈴短歌会

病院の待合室に鈴虫のあまた飼われて秋よびてをり
荒砂 金義

うたごころ枯れて久しき我にして友と吟行の一日楽しも
植田 イセ

水量の乏しくなりし大斗滝山静かにて水音清し
都甲 鶴男

我が里を巡れる山のそれぞれの姿顕ち来て冬になりゆく
本多 茂雄

若藤 延世

地域婦人として何を……

町婦人祭

第十二回東郷町婦人祭が、二月四日、町中央公民館で開催されました。

現代の変動する社会情勢の中で、婦人団体の果たす役割はますます重要となってきました。

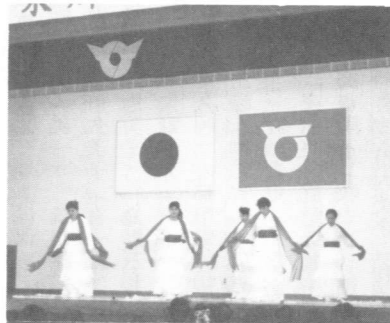
この婦人祭は、町内の婦人が、連帯意識を高めながら婦人活動のあるべき姿を見なおし、組織を強化するため行われているものです。

当日は、午前九時三十分の開

会式に引きつづいて、八重原の奈須ツギエさんと迫野内の黒木スナヲさんが体験発表を行いました。

また、東臼杵教育事務所長川口四郎先生が「大人の幼児化と自立」と題した講演を行い、参加した会場の皆さんは熱心に聞き入りました。

午後には、各地区の婦人会による芸能発表があり、趣向を凝らした演し物に惜しみない拍手



▶芸能発表

が贈られました。なお、この大会は、「日本一住みよい東郷町」をめざした新ひむかづくり運動の一環として実施されています。

医療費節約に「理解を

病院にかかったときの医療費が毎年増え続けています。その理由としては、医療の高度化、治療期間の長い成人病の増加、医療費の改定などがあげられます。このため、医療費が増えるのは、健康を守るために「しかたがない」と考えがちです。もちろん、医療費が増えることは、私たちの健康水準がそれだけ向上したともいえます。しかし、医療費が増えると、それを支える国民一人ひとりの負担も大きくなってしまいます。また、老



人保健自体も危機を迎えることにもなりかねません。そこで、日頃から健康づくりを心がけ、できるだけムダな医療費を増やさないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

入場前売券の販売

—フラワーフェスタ'90—

みやざきフラワーフェスタ'90が三月十八日から四月四日までの十八日間にわたって開催されます。

も楽しく遊べる企画になっています。開幕に先だって、県総合運動公園会場の入場前売券(「おもちゃランド」と共通)を、東郷町観光協会が販売いたしますので、入場予定の方は、役場企画財政課内町観光協会事務局でお買い求めください。

▼申込み先 日向農協本店及び各支店(営業部52-6211)
▼申込み方法 右記へ住所、氏名、電話番号、本数、代金処理法、受取希望場所を申し込

▼販売価格 1枚 250円
(当日券は3歳以上300円)
▼販売期間 2月23日～3月17日

「第2回 身近な生き物調査」参加者募集

このたび環境庁では、平成2年度に第2回身近な生き物調査を実施することになりました。この調査は広く一般の自然愛好者にボランティア調査員として参加いただき、本町の動植物等自然の現況を把握しようというものです。次のとおり、調査員希望者を募集します。
▼第一次募集期限 3月23日
▼申込み及び問い合わせ先 東郷町役場住民課

点描 (101)

男なら 藤井満義 ②

精米業は順調にゆき、富高町に藤屋旅館を開業したのは、大正十年頃であった。

昭和二十一年十二月祖父が亡くなった時は、私は宮崎に住んでいた。その三月月位前のある日、久しぶりに会った祖父の髪を刈ってやったが縁側で祖父が、「満義は政治家になる気はねえじゃろうね」

「全然ねえ」
政治嫌いの祖父に育てられ私も政治家嫌いであったから、何故突然そんな事をいうのかいぶかしかった。祖父は口をしめた。

自分の金もうけばかり考えて世の中の為につくさなかつた事が、死期の近づいた祖父の心残りだったのでないだろうか。

祖父が亡くなってから私はその日の祖父を思い出した。
昭和二十二年、私が県会議員になって政治一筋に生きて来たのは、「政治と実業は両立しない」という信念からである。想えば祖父のその言葉が私の政治家への道の示唆となったのかも

ない。

祖父が亡くなったのは昭和二十一年十二月七日で、宮崎から急いで帰って来たところ、佛壇の下に頭巾やケサが入っていた。「じいちゃん死装束まで準備していたもんじゃ」祖父の準備のよさに感心した。坊さんしか着ることの出来ない金ランのケサを着せて納棺した。

それから一年忌の法要の時、成願寺の住職が祖父の思い出の話をしている時、
「満義さんの知らんことがある」「なんじゃろかい」
「あんたのじいさんは、わしのケサを着て逝きやつた」

話を聞いて驚いた。それは祖父が亡くなる一ヶ月前にぶらりと寺に来て、
「是非、一生のうちに坊さんの着る衣を着て写真をとりたいので貸して貰いたい」と言っていて持ってゆかれたが、寺に返さぬうちに亡くなられたのである。

「しかし、満義さんあんたのじいさんはあのケサを着けても恥しくないだけの信者だった」
恐縮する私に住職はそう言ってくれた。だがその頃は物質が無く普通人の人の日常の着物ですら買えない時代のことであった

「ケサ衣を返さぬうちは、じいさんも肩身がせまかろう」私は

八方手をつくしてケサ衣を探したが駄目だった。

ようやく東京出張の帰りに京都でケサ衣を求めて、成願寺にお返しすることが出来た。

成願寺は私にとって、郷土の先覚者菩提寺であると共に、祖父を想い出すすがにもなっている。

以上は、藤井満義の「祖父を語る」手記である。

東郷町文化協会長 都甲鶴男

若山牧水

⑬ 牧水歌碑

日向市の歌碑めぐり

〈細島米の山〉

教育長 渡辺邦彦

日向の国むら立つ山のひと山に住む母恋し秋晴の日や

この歌碑は日向市米の山の山頂にあり、牧水生誕百年記念行事の一つとして、昭和六十年十月二十五日に除幕されました。前日は東郷町で記念行事が行われました。全国から創作社の会員約百三十名が若山旅人氏と一緒に参加されましたが、当日帰途につかれた人達を除いて約百

名の会員が米の山の除幕式にも参列されました。
式は朝八時三十分、神事によって始まりました。とても風の強い日で、式場に張られたテントが折からの強風にあおられてパタパタとすごい音をたてていました。

旅人氏は謝辞の中で「昨日の東郷町の歌碑といい、重量感あふれる自然石のその巨大さにおどろいています」と絶賛されました。また、この「日向の国」の歌にもふれられて、「父牧水は、この歌を最初は『住む母恋し秋晴の風』と詠んでいました。それを後に推稿して、『秋晴れの日や』としたようです。今日のこの強い風は、まさに『秋晴の風』にはかなりません」という意味の挨拶をされたのがとても印象的でした。

ところでこの歌碑の建立にあたっては、細島在住の有志数名の方々によって発起され、地域の方々の幅広い賛同を得て資金が調達され、建立の運びとなりました。書は牧水の直筆が見当らず、旅人氏に依頼されたものです。

さて、この歌は処女歌集「海の声」に収められており、第三歌集「別離」にも再収録されています。牧水がこの歌をどこで



米の山の歌碑

詠んだのか、その場所はよくわかりませんが、この米の山の山頂に立ってはお西の方にかすむ尾鈴山の連峰に目をやると、この歌にこめられた牧水のその母を慕う思いが切々と私どもの胸にも伝わってくる感じがします。また、牧水独特とも言える美しい声調も、この歌から感じとられます。

最後に、次男富士人氏は「創作」（昭和六一年一月号）の中で次のように言っておられるので付記しておきましょう。
「澄み切った秋晴の空の下、幾重にもたなずく山並はその重なりも明らかに折からの朝日に映え、これこそ牧水が望郷の念止み難く故郷の母を偲んで歌った時、脳裏に浮んだであろう「むら立つ山」の姿に違いないと直感した。私の選ぶ牧水の歌一首、今回は迷うことなくこの歌を選ぶ」（抜粋）

健康余話

48 「かぜ」の話

東郷町立病院 院長 高橋弘憲

「かぜ」とは、正確にはウイルスによって上気道炎が発生し、咳や鼻水などの呼吸気症状をきたした場合をいうのですが、一般的にはインフルエンザや、寝冷えなどで発熱した場合も含めてよいかと思えます。

今年、ホンコンA型というインフルエンザウイルスが世界的に猛威をふるっており、東郷町でも多数の人が発症しています。激しい頭痛、関節痛などが主な症状で、何人かの人は入院が必要となりました。

さて、「かぜ」をひかないための予防法ですが、これには昔からの生活の知恵が一番の方法です。すなわち、少しでも「かぜ」の症状が現れたら、十分の栄養を摂り、早めにぐっすり休むこと。厚めの下着を着けて、冷たい空気が入り込まないようにすること。特に下半身や、えり元、そで口などが冷えるのは良くありません。外出時にはマ



スクを着け、帰宅時にはうがいをするのも良いことです。特にマスクは、他の人に移さないためにも大切なエチケットなのです。また、酒やタバコは気道の粘膜を痛めてしまいますので、できるだけ控えてもらいたいです。

考えてみればこれらの用心は当たり前のことなのですが、最近は何でもすぐに薬にたよる傾向がみられます。薬は咳がひどい時に咳止め、熱が高きついに時に解熱剤を症状を抑えるために飲むものであり、薬で「かぜ」が治るものではありません。根本的には、自分の工夫で治してゆくものなのです。

子供の場合でも、薬以外に食事や服装の工夫が大切です。翌朝になるとたいがい一時的に熱が下がりますが、夜になって考えがちですが、夜になってまた発熱することも多いので、

最低二、三日は十分の用心が必要で、水枕を頻繁に変えてやったり、温いおじやなどの消化の良い食事を作ったり、十分の愛情を示してやってく

わが町の交通事故の状況

(一) 交通事故

事故	元年	前年	増減
発生件数	15件	22件	(-)7
死亡者	1人	2人	(-)1
重軽傷者	22人	34人	(-)12

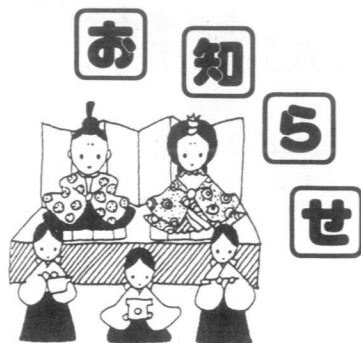
(二) 交通違反検挙数

速度違反	116件	酒気おび	17件
一時不停止	51件	無免許	3件
通行区分違反	42件	その他の違反	94件
信号無視	30件	合計	353件

交通事故については前年にくらべて減少していますが、違反で検挙された者と事故の件数をあわせると一日当り一人の割合で違反検挙がなされたことになり、罰金反則金の額を考えると大変な損害であり、このような事で良いのかと改めて反省させられました。



飲酒運転は車を凶器にします。東郷町は依然として高齢化や過疎が進みつつあるなかで、今こそ真剣に豊かな町づくりに取り組まなければならない大事なときです。
大切な町民の生命財産を交通事故で失うようなことがないよう、堅実な町民性を町民全体で切磋琢磨してつくりあげていきたいものです。



奨学生を募集

東郷町教育委員会では、次のおり平成二年度の奨学生を募集いたします。

▽申込資格
町内に本籍を有する者、または、町内に引続き五年以上在住し、現に居住する者で高等学校高等専門学校及び大学に在学している者、または、これから学校に進学する者。

▽貸与申込
願書用紙が、教育委員会事務局に準備してありますので、新しく申込み人は願書に履歴書、身体検査書、及び在学証明書を必ず添えて申込みこと。

継続申込み者は、高校については願書に成績証明書、大学は願書に単位修得証明書を添えて申込みこと。

▽申込締切日 4月20日(金)
▽貸与決定 五月上旬までに各保護者宛に通知します。

その他詳しいことは、町教育委員会事務局へ。

▽貸与額
高校 月額一万円
大学 月額二万円

献血

東郷町では毎回多くの方から献血をご協力いただき、大変ありがとうございます。

次の日程で献血車がまいりますので、多くの方のご協力をお願いします。

▽日程 3月1日
▽場所 農協東郷支店
▽時間 10時～12時
▽場所 東郷町役場
▽時間 13時～16時

日向アマチュア無線クラブ

記念講演

日向アマチュア無線クラブでは発足後20年を迎えるにあたり、その記念行事の一つとして次のとおり記念講演を行います。

▽開催日 平成2年3月4日(日)
▽時間 13時30分～15時
▽講師 一ノ瀬正輝先生

▽演題 農業の視点から見た地域活性化

▽場所 日向市文化交流センター
▽主催 日向アマチュア無線クラブ

二種混合・三種混合 予防接種

▽日時 3月15日 14時受付
▽場所 坪谷公民館
▽日時 3月16日 14時受付
▽場所 山の口集落センター
▽日時 3月20日 14時受付
▽場所 東郷町中央公民館



忌明けとして、つぎの方から町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

- ◎迫野内の藤栄楽さんから (カツ子さん・81歳ご逝去)
- ◎仲深の三浦トリエさんから (善久さん・66歳ご逝去)
- ◎越表の山下歌重さんから (初江さん・75歳ご逝去)
- ◎福瀬の川越重義さんから (正喜さん・61歳ご逝去)
- ◎仲深の三浦花子さんから (イチ子さん・76歳ご逝去)

行政相談・人権相談

▽日時 3月20日 9時～15時
▽場所 東郷町老人福祉館

心配ごと相談

▽日時 3月20日 9時～15時
▽場所 東郷町老人福祉館

消費生活相談

▽日時 3月20日 9時～15時
▽場所 東郷町老人福祉館

今月の納税等

国民健康保険税 随時期

- ◎寺迫の山本浅一さんから (松次郎さん・91歳ご逝去)
- ◎羽坂の佐藤国南雄さんから (権次郎さん・91歳ご逝去)
- ◎羽坂の岩佐国弘さんから (山本ウメノさん・83歳ご逝去)
- ◎仲深の原田ナツエさんから (鉄藏さん・77歳ご逝去)
- ◎福瀬の川越文男さんから (トラさん・86歳ご逝去)
- ◎迫野内の佐藤太美さんから (タメさん・85歳ご逝去)
- ◎福瀬の岩田賢一さんから (アグルさん・66歳ご逝去)
- ◎八重原の伊東一義さんから (由兵衛さん・89歳ご逝去)
- ◎寺迫の近藤寛治さんから (橋口チエさん・92歳ご逝去)

戸籍だより

(一月届出分)

出生 おめでとー

赤ちゃんの名	父の名	住所
海野 仁美	修一	小野田
高瀬 大宗	久光	寺迫
黒木 彰子	福三	羽坂
黒木 優	訓	小野田
黒田 博史	敏彦	仲深

死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
山下 初江	75歳	越表
三浦 善久	66歳	仲深
伊東 由兵衛	89歳	八重原
岩本 カヨ	92歳	小野田
三浦 イチ	76歳	仲深
山本 松次郎	91歳	寺迫
岩田 アグル	66歳	福瀬
佐藤 タメ	85歳	迫野内
佐藤 権次郎	91歳	小野田
横山 雅臣	63歳	仲深
小松 益岡	81歳	鶴野内
河野 アイ	87歳	小野田
川越 トラ	86歳	鶴野内

◆お詫び◆

先月号戸籍だより結婚欄の三原辰美は三浦辰美の誤りでした。お詫びして訂正いたします。